

## 初級登山教室終了山行

行先：立山

日時：2022年7月30日（土）～7月31日（日）

参加者：CL I、SL S、 T、 K、 H

受講生：T.M、Y.M、 T.H

スタッフ5名、受講生3名 合計8名

2022年初級登山教室として 受講生6名が参加していただきましたが、残念ながら終了山行には諸都合の関係上3名の参加となりました。

まず2022年の初級登山教室の概略を簡単に紹介します。

会員名	所属班	5月10日 (火)	5月17日 (火)	5月21日 (土)	5月24日 (火)	5月29日 (日)	5月31日 (火)	6月4日 (土)	6/19 (日)	7/22 (木) ～24 (日)
		机上装備他	机上読図	実技読図 四国山	机上岩歩き	実技岩トレ 滝畑	机上気象	実技岩トレ 六甲	実技山行 稲村が岳	終了山行 立山

机上講習4回、実技講習4回、終了山行1回となります。今回の初級登山教室に当りスタッフ総数42名となりました。内容によりスタッフも得意分野に分かれサポート体制ができ終了山行まで実施できたことを感謝いたします。

また、少し内容を見直しましたが次に生かしていき継続できる活動にしていきたいと思います。

前段にも記載していますが最終立山終了山行には、T.Mさん、Y.Mさん、T.Hさんの3名が終了となりました。おめでとうございます。次回の初級登山教室にはスタッフとして活躍を行い反復と見直しを行い知識、技術の向上につなげてください。そこできつと気づきあり大きく成長できると思います。

当会会長より初級登山教室終了証授与 (T.Hさんは都合により欠席)



Y.Mさん



T.Mさん

さて序盤が長くなりましたが終了山行と行きましょう。

今回は、事前の天気予報に決行出来るのかと振り回されましたが、参加者の皆さんの行い良いのか何とか持ち直してくれ、最高のコンディションで雄山に立つことが出来ました。

初級の内容としてはまず高度に慣れる意味でも無理ない計画で室堂泊まりとしました。最終目的は全員で雄山山頂に立つという内容です。

7月23日2時すぎに和歌山を出発、立山駅駐車場に8時半着。9時のケーブル、高原バスで室堂に11時着となるが本日は天気予報通りあいにくの天気である。天気も悪いようなので室堂山荘にて宿泊受付を済ませようと小屋にて受付を済ませると、時間も早いですが部屋に案内していただけるのとこのことで部屋にて天気の回復を待つことことにした。各自昼食を済ませ天気も回復気味でありそうなので室堂山に足慣らしに出発することにした。途中ガスと雨に少し見舞われたが浄土山に到着するころには雲も晴れてきた。ライチョウ親子にも遭遇し気分の晴れやかになってきた。ところで浄土さんへ行く途中ガスがあり他のパーティーや単独登山者より道が分からないと聞かれたがそんな風で大丈夫だろうか心配になってきた。さて、浄土山も過ぎ竜王岳手前にはすっかり天気も回復し雄大な景色でみんなの気持ちも晴れやかとなった。一ノ越山荘へ、途中外国人夫婦にあいさつしたが変な奴らが分からん英語で話しかけるなよと言われんばかりに声をかけた。結局その方たちは一ノ越山荘泊で明日、雄山へ向かうようだ。二人とも立派な体格で非常に重そうでひとことながら気にはなつた。



山荘より浄土山方面

そうこうして山荘に向けていった。途中雪渓を何度か通り良い経験にはなつたと思われる。慎重に通過する姿も初々しさを感じました。 雪渓通過中

立山室堂山荘では、温泉ではないが風呂にも入れ一泊二食で個室(男女各4名)1万1千円と非常にお手頃価格に感じた。布団も綺麗で食事もおまけに水洗トイレと満足するもので快適以外の何でもない。



夕食風景



今回は満室で予約が取れなかったが、いつかはみくりが池温泉小屋にも泊まってみたいものである。

翌 24 日は予報通りの快晴である。朝食を済ませ 6 時 40 分に小屋を出発（不要な荷物は小屋にデポ）一ノ越山荘→雄山山頂を目指した。途中ヒイヒイ言いながらも快調に足を運び 8 時 45 分にみんなで山頂に立つことができた。集合写真をライブカメラに収めたくて挑戦したが残念ながらカメラの時間ズレで撤収の様子が残る形になった。 2022 年 7 月 24 日 9 時 📍



雄山山頂ライブカメラ

残念ながら撤収状態となった

雄山山頂では、安全祈願を受けいい経験ができた。前回もいつでもいけると高をくくっていたがなかなかどうしてあっという間に 10 年は過ぎた。次ということはありません。隣にいた女性も私と同様なことを言っていて一緒に祝詞を受けた。

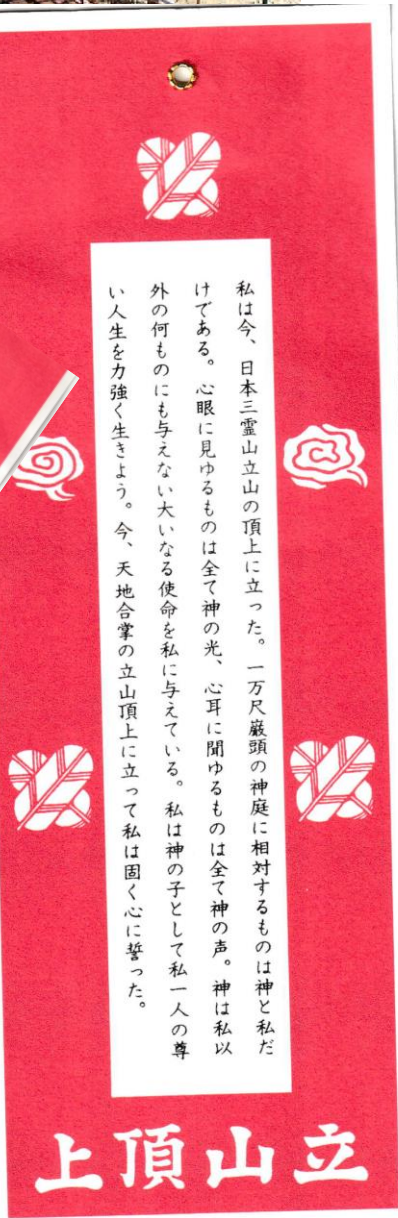


雄山神社  
参拝記念



私は今、日本三霊山立山の頂上に立った。一万尺巖頭の神庭に相對するものは神と私だけである。心眼に見ゆるものは全て神の光、心耳に聞ゆるものは全て神の声。神は私以外の何ものにも与えない大いなる使命を私に与えている。私は神の子として私一人の尊い人生を力強く生きよう。今、天地合掌の立山頂上に立って私は固く心に誓った。

立山雄山神社  
立山は大正元年（七〇）に越中国司佐伯有若公の嫡男有頼公が十六歳の時、神示により開山したと伝えられます。それ以来千三百年の間富士山白山と共に日本三霊山のひとつとして全国から尊敬されてきました。富山県では少年時代に立山に登拝しない者は一人前にならないという風習がありました。祭神は天手力雄神（災難消滅家内安全の守り神）伊那岐神（職業繁栄開運招福の守り神）の二柱であります。頂上の神殿は金澤百万石藩主代々の造営でありましたが平成八年七月百三十六年ぶりに建替えられました。山麓の芦峯寺には中宮祈願殿、岩峯寺には前立社壇の壮大なる神社が鎮座されてあります。当社は北アルプス山岳上の唯一の延喜式内国幣社であります。  
立山頂上社務所





雄山山頂集合写真 ➡  
富士ノ折立 ➡

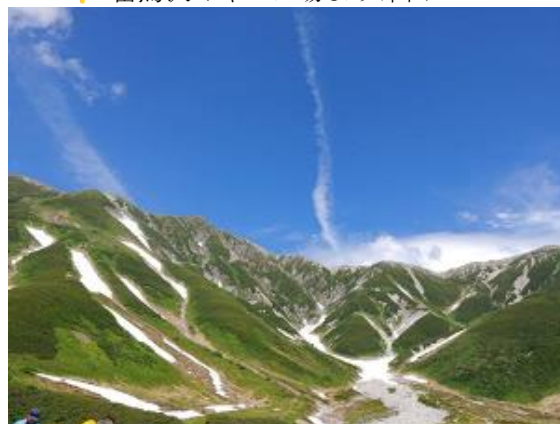


山頂を十分堪能して先に足を延ばした。山頂より岩場の歩き方、ストックの使い方などを反復練習しながら 12 時 50 分雷鳥沢キャンプ場に到着、

👉 雷鳥沢キャンプ場はもうそこだ



👉 雷鳥沢キャンプ場より雄山



一息入れ最後の登りを踏ん張り、荷物をデポしている立山室堂山荘に 13 時過ぎに到着。しばし休憩後、室堂駅に向かった。今回、無事に山行を終了できたことに感謝します。



### 終了山行山行参加者感想

➤ ここゆめ班 T.M さん

この 4 月に「紀峰山の会」に入会させて頂きました、山行は全く経験が無くハイキングに行く程度でしたが、60 代半ばを過ぎ体力の衰えを実感する様になりジムでのトレーニングだけではいけないと思い体力作りを兼ねて山々の山行をする事と思い立った次第です。

しかし体力のなさが露呈し初級山行の「ロックガーデン」「稲カ村岳」と行く度にバテてしまい皆さんにご迷惑をお掛けする事となり、立山山行はとても厳しいと思い一度は欠席を連絡させて頂きましたが皆さんの励ましにより低山などで練習を重ね参加する運びとなりました。

やはり練習の成果は有って辛いながらも皆さんに付いて行く事が出来ました、立山連峰の景色に疲れが飛んでしまいます、何よりメンバーに恵まれ・天候にも恵まれ素晴らしい山行となりました。

計画・実行して頂きました全ての皆様に感謝とお礼を申し上げます、本当に有難う御座いました。

#### ➤シリウス班 T.H さん

最初に、お忙しい中、複数回にわたり初級登山教室を開催くださいました、安全・教育部を始めとするスタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。登山計画、読図、気象講座などの座学から実地での岩トレニング、チーム行動のイロハまで、幅広く教えていただくことができました。今後の山行にしっかり役立てて参ります。

さて、今回は私が以前から登って見たかった立山への山行ということで、とても楽しみにしていたのですが、期待していた以上の素晴らしい山行となりました。良かった点を挙げれば、きりが無いのですが、まずはメンバーに恵まれた点です。初級教室メンバー・スタッフの皆様とは、これまでも何度か山行をご一緒していたこともあり、非常に和やかな雰囲気の中で、楽しく登ることができました。さらに天候にも恵まれ、特に、2日目は北アルプスの素晴らしい眺望を心行くまで楽しむことができました。

また、全体を通して、初級メンバーで励まし合いながら、ほぼ予定どおりの時間で目的としていたルートを歩き切ることができたことは、今後の自信にもつながることと思います。

最後になりますが、今後とも様々な山行を行い経験値を高めていきたいと考えております。今後とも、ご指導の程よろしくお願ひします。また、山行を計画された際は、グループの垣根を越えて、是非お気軽にお声かけくださいますようお願いいたします。

引き続き、よろしくお願ひいたします。

#### ➤弥生班 Y.M さん

山に憧れを抱きながら日々の仕事や生活を充実させることさえ難しい・・・と登山の世界に踏み出せずにいた私。しかし2年前、コロナ禍で世の中や生活が一変したことが「やり残しなく生きたい！」との気持ちを後押し、山や登山に関する

る「知識」も「技術」も「体力」も皆無のまま、「紀峰山の会」に入会させていただきました。そのような私にとって、「初級登山教室」は、大変、貴重な体験の連続で、毎回楽しく、一連の講習があつという間に終わってしまったと感じています。読図、ロープワーク、気象座学といった机上講習は、丁寧にご指導いただくも飲み込みの悪さや不器用さのため習得には至らずですが、それらの知識や技術の意味合いや大切さを知ることができました。これからも諦めることなく、体験を伴いながら、身につけていきたいと思えます。

岩トレや実技山行は、私には、実力を遥かに超えるハイレベルの内容でしたが、安全・教育部以外のスタッフ会員も加わってくださったチームの皆さんに支えられて最後まで無事に参加することができました。

実技山行で学んだ「しがみつかず岩と対面し向かい合うこと」「体幹を真っすぐに保ち歩くこと」「足を乗せる位置を見極めること」そして「山に登る前の準備と体力づくりがとても大切であること」などは、人生観にも通じるように感じます。

修了山行の立山は、お天気に恵まれ、チームの皆さんに恵まれ、北アルプスの美しさ雄大さに触れられた本当に最高の山行でした。自身の体力の低さと技術の未熟は実感せざるを得ませんでした。それ故に得られたチームの皆さんの指導や励ましも、忘れられない嬉しく素晴らしい体験だったと思っています。

9回にわたる初級登山教室を開催いただき、指導やスタッフとして受講を支えてくださった会員の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

以上 皆さん最高の山行でした。お疲れさま